

新ごみ処理施設の建設について

1. 経緯（別紙 1）

2. 環境影響調査の概要（別紙 2）

3. 新施設の概要

(1) 建設地（別紙 3）

高山市三福寺町 1 8 0 0 番地（資源リサイクルセンター清掃工場東側）

(2) 処理能力（現時点における想定）

9 6 t / 2 4 時間（4 8 t × 2 炉。災害廃棄物処理量 1 0 % を含む）

(3) 完成予定

令和 8 年 3 月

4. 今後の取り組み

(1) 検討委員会の設置

- ・地元の代表者を含む市民や学識経験者による検討委員会を設置し、建設地周辺の皆様の思いをしっかりと施設整備に反映させます。

(2) 周辺環境への対応

- ・煙突の配置や高さについて配慮します。
- ・専門家の意見を伺いながら、ダイオキシン類などの有害物質の排出基準を、全国の施設の中でもトップクラスの厳しい排出基準とし、周辺環境への影響を可能な限り低減させていきます。

(3) 熱エネルギーの効率的な利用

- ・施設で発生する熱エネルギーを活用した発電などにより、地球温暖化ガスの排出抑制に取り組みます。

(4) 安全・安心な施設

- ・災害発生時や停電時でも、運転が継続できる施設にします。

(5) 環境監視活動

- ・これまでに実施した環境影響調査の中でいただいたご意見等を活かして、排ガス測定のほか、周辺大気の状態、臭気、土壌、水質などの環境監視活動について、きめ細やかな調査と結果報告を行います。

(6) 施設の運営方法

- ・施設周辺の皆様に安心していただけるよう、市の直営施設として適正に職員を配置し、安全稼働に努めます。

(7) ごみ減量化の取り組み

- ・施設へのごみの搬入量や焼却量を減らすため、あらゆる施策を講じる中で、より一層のごみの減量化に取り組みます。

【主な施策】

- ・食品ロスの削減
- ・分別の徹底
- ・使い捨てプラスチックなどの使用抑制
- ・簡易包装の推進

(8) 埋立処分地の跡地活用

- ・平成28年度から、整備に向けて必要な調査を実施しています。
- ・引き続き、市民の皆様の憩いの場となるよう、早期の整備に向けて取り組みます。

(9) 施設周辺地域の環境整備

- ・平成28年度に策定したランドデザインをベースに、地域の皆様のご意見・ご要望をお聞きしながら、施設周辺の環境整備に取り組みます。